

事業番号	事務事業名	身体障害者福祉協会補助金	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01311	政策名	1	係名	福祉課	担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	15	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町身体障害者福祉協会の活動と運営を支援するため、補助金を交付する。協会からの請求に基づき補助金を交付する。	平成17年度合併と同時に旧4町村を1つの協会とし、旧町村ごとに支部を設けて活動している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 身体障害者福祉協会	ア 団体数	団体	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
イ	イ 加入会員数	人	見込 実績	100 80	100 72	83 70	80	80
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 協会加入者に元気になってもらう	ア 元気になった障害者数	人	目標 実績 達成率	100 80 80.0%	100 72 72.0%	100 70 70.0%	80	80 87.5%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 補助金の支払い事務	ア 支払件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 補助金額	千円	目標 実績 達成率	394 394 100.0%	394 394 100.0%	394 394 100.0%	394	394 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 03		項 01		目 03		大事業 中事業					事業番号											
	一般会計		民生費		社会福祉費		障害者福祉費		15	02	身体障害者福祉協会補助金														
30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算 (千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比													
国庫支出金						国庫支出金																			
県支出金						県支出金																			
町債						町債																			
その他特財						その他特財																			
一般財源	394	394	394	394	394	一般財源	394	394	394	394	394														
合計	394	394	394	394	394	合計(A)	394	394	394	394	394	0													
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1														
	延べ業務事務時間						80	80	80	80	80														
	人件費計(千円)(B)						271	280	267	268	268	-13													
最終予算額		394 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		665	674	661	662	662	-13										
主な 支出事業内容 (予算)	補助金						394 千円						主な 支出事業内容 (決算)	補助金						394 千円					

事業番号	01311	事務事業名	身体障害者福祉協会補助金	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年度合併と同時に旧4町村を1つの協会とし、旧町村ごとに支部を設けて活動している。現在は会員の高齢化が進んでいる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
会員の高齢化が進み活動が難しいという意見や、支部の維持が難しいという意見が寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	協会の活動は障害者の社会参加を促進するものであり、政策に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	障害者の自立と社会参加の場の確保のため、町が関与することは適当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象・意図は妥当であるが、会員数の減少や高齢化が進んでいるため、新規会員の加入が課題である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	成果は目標水準に達しているが、より多くの会員が参加できる活動を行うことでさらに成果をあげられる可能性はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	障害者の社会参加の場が失われるため廃止・休止は適当でない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	補助金の交付が主であるため、改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	協会の活動の中心は会員である住民のため、事業費の削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	協会が自立した活動を行うことが望ましいが、現状では難しいため町がある程度支援する必要がある。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	会員1人当たり500円の会費を負担している点では公正である。しかし、ここ数年新しい会員の加入が低迷しており、活動が一部の会員のみとなっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	障害者の自立と社会参加の場の確保のために、本事業は必要である。しかし、会員の高齢化により活動や維持が難しくなっている支部もあり、さまざまな年齢層からの新規加入が課題である。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 会員数を増やすために、協会の周知方法や活動内容について検討を行う。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
協会の周知のため広報誌に掲載したり、窓口での案内を行っているが、より広く周知する必要がある。また、会員が参加しやすい活動を検討しなければならない。																									